

2025年4月18日

第79回全日本体操種目別選手権・団体選手権出場枠(女子)について

(公財)日本体操協会
女子体操競技強化本部
大会プロモーション委員会

第79回全日本体操種目別選手権(以下、全日本種目別)

■参加資格

年齢が13歳以上の者(2025年12月31日までに達する者)で、下記の資格を有するものが参加できる。

①シード選手(全日本種目別予選免除者)3名 ※1

②①を除く、種目別ランキング上位者18名 ※2,3

③映像審査上位者6名 ※3

※1 決勝のみに出場する。(全日本種目別決勝進出者は8名。)

※2 ランキングは対象試合における、各選手の各種目最高得点によって作成する。

※3 予選には②18名と③6名の計24名が出場する。

■各参加資格について

①シード選手(全日本種目別予選免除者)

①-1 第53回世界体操競技選手権種目別決勝進出者 最大2名 ※1

①-2 日本代表選考競技会(※2)ランキング 上位 最大1~3名 ※1,3

※1 ①-1、2を合わせて、3名とする。

※2 全日本個人(2試合)およびNHK杯(1試合)の計3試合を対象とする。(以下、同様。)

※3 跳馬のランキングはすべて1跳躍を対象とする。(以下、同様。)

②種目別ランキング上位者

②-1. 日本代表選考競技会ランキング(①を除く) 上位10名

②-2. 各連盟競技会(※1)ランキング 上位8名

※1 全日本ジュニア1部/全日本インカレ1部・2部/全日本シニアの3大会を対象とする。
(以下、同様)

③映像審査上位者

③ 映像審査(①、②を除く、※1) 上位6名

※1 映像審査への参加は、下記参考基準得点を満たすことを条件とする。

<参考基準得点>

跳馬:13.200(※2、ボーナスあり) 段違い平行棒:12.500 平均台:12.500 ゆか:12.500

※2 2跳躍の平均点を対象とする。

■出場有資格者に辞退が出た場合の対応

- ①が辞退を申し出た場合、決勝進出者は予選上位者より繰り上げる。
- ②が、映像審査申込開始前日までに辞退を申し出た場合は、②の次点者に出場資格を与える。
- ②③が、映像審査申込開始後から全日本種目別の参加申込×切日までに辞退を申し出た場合は、③次点者に出場資格を与える。(上記日程以降は、棄権とする。)

■タイブレーク

原則として FIG 競技規則に則って行う。

ただし、②について、さらに同点の場合は、②-1.2 の競技会の中で当該種目における各選手の 2 番目に高い得点を比較し、その上位者から順に権利を与える。さらに同点の場合は、同様に 3 番目以降の得点を比較する。出場した競技会数が異なり得点を比較できない場合、より多くの競技会に出場した選手を上位にする。また、タイブレークができない場合は、予選の出場枠を増やす。

■タイムライン

- ・9 月中(未定) 各連盟競技会終了後に種目別ランキングを決定、出場意思確認後、出場有資格者を発表。
- ・10 月 4 日(土)～8 日(水)17:00 映像審査申込。(映像は 2025 年 4 月 1 日以降に撮影された演技。)
- ・10 月 11 日(土)～13 日(月) 映像審査。(翌日以降に HP にて結果発表。)
- ・10 月中(未定) 全日本種目別参加申込。

第 79 回全日本体操団体選手権(以下、全日本団体)

■参加資格

①各連盟競技会団体総合ランキング 上位 15 チーム

※各大会のチーム得点を 6-6-3 で再計算してランキングを作成し、選出する。ただし、団体メンバーが 6 名に達しない場合は、各大会でチーム出場していることを条件として、5 名の場合は 5-5-3、4 名の場合は 4-4-3 で再計算する。(チームが解体し、団体戦が成立しなかったチームは選出対象としない。)

②強化選抜チーム(※1) 1 チーム(※2)

※1 ナショナル選手、ジュニアナショナル選手によって編成する。(自費参加)

※2 強化選抜チームが編成できない場合は、①の次点チーム(16 位)に出場権を与える。

(ジュニアナショナルトライアウトは、9 月 7 日(日)開催予定。)

以上。